

乳がんサバイバーの方とオンライン国際交流を行いました

2022.10.24

看護学科1年生を対象とする「医療英語」の授業のなかで、オンラインでの国際交流を実施しました。今回は、米国オレゴン州ポートランドから、乳がんサバイバーの方たちで構成されるドラゴンボートチーム、Pink Phoenix（ピンクフェニックス）から、4名が参加されました。また、その4名のうちの1名のサバイバーの方の治療を行った経験のある癌の専門医の方にも、ご参加いただきました。



本学の海外研修プログラムには、例年、ドラゴンボート体験と交流会が含まれていますが、そのときにお世話になっているのが、Pink Phoenixの方たちです。

今回の交流では、メンバーの方々から、乳がん発症からPink Phoenix参加に至るまでの経緯や、参加後の身体的・心理的变化についてお話しいただきました。また、今回は、癌の専門医の方にもご参加いただいたことで、医療従事者という立場から、患者さんと、どのように向き合うべきかというお話もお伺いすることができました。

本学からは、代表の学生6名が英語で大学紹介を行いました。その後、英語で質疑応答を行いました。参加した学生からは、「とても貴重な時間を過ごせました」、「前向きに行動している姿に元気をもらいました」、「患者様に寄りそうことの大切さを改めて感じました」などの感想が寄せられました。



Pink Phoenix に参加することで社会に居場所を見つけ、乳がんを乗り越えて明るく健康的に生きる彼女たちを見て、このような活動が日本にもあれば良いと感じた学生も多くいました。今回の交流は、学生達にとってとても貴重な経験となっただけではなく、参加したサバイバーの方からも「学生達からパワーをもらった」という感想を頂きました。

今回の交流は、ポートランドの現地コーディネーターである中田様 (KANEMASU LLC) にご協力頂いて実現することができました。深く御礼申し上げます。

日本医療科学大学
国際交流研究センター